



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社トランスジェニック
 コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	339	13.8	60		63		49	
29年3月期第1四半期	394	28.6	34		47		37	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 42百万円 (%) 29年3月期第1四半期 77百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.42	
29年3月期第1四半期	2.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	3,871	3,346	86.2	228.20
29年3月期	3,902	3,173	81.0	220.20

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,337百万円 29年3月期 3,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,410	4.7	200	29.9	170	92.6	110	36.3	7.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,624,941 株	29年3月期	14,354,941 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,421 株	29年3月期	1,421 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,390,443 株	29年3月期1Q	14,311,651 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、当連結会計期間に、新株予約権の行使により、新たに普通株式270,000株を発行しており、業績予想の「1株当たり当期純利益」は当該株式を含めて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景として緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の回復は足踏み状況が続いており、米国の保護主義政策や中国及び新興国の景気減速等もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属するバイオ関連業界におきましては、人々の健康と豊かな生活の実現へ向け、産学連携による共同研究や企業の投資が活発化し、新製品の研究・開発が相次いでおります。

このような環境の中で、当社グループは、ジェノミクス事業においては、遺伝子改変マウス作製受託サービスの作製期間の短縮、さらにコスト低減が図れるゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)を活用した受注に注力するとともに、コスト面では受注能力拡大を目的として製造及び販売両面において人員補強等の先行投資を行いました。また、大阪市立大学 森 啓 特任教授らが開発したアルツハイマー病モデルマウスとしてのAPP_{OSK}マウス^{※1}及び野生型TAU^{※2}トランスジェニックマウスについて、大阪市立大学及び森 啓 特任教授とライセンス契約を締結し、需要の高い中枢神経系モデルマウスのラインナップ拡充を図りました。さらに、資本業務提携先である(株)免疫生物研究所と、同社が所有する抗体について上記APP_{OSK}マウスを用いた非臨床試験によるアルツハイマー病治療薬開発に取り組むべく、共同研究開発契約を締結いたしました。

CRO^{※3}事業においては、既存の顧客との取引を拡大・深化させるとともに、新規顧客の開拓に注力し受注強化を図りました。また、非臨床試験の更なる受注拡大に向け、顧客(主に製薬企業)の多様なニーズに応えるため、新しい病態モデルの研究開発に取り組みました。重要施策であるジェノミクス事業との連携強化については、ジェノミクス事業が保有するAPP_{OSK}マウス等の有用な疾患モデルマウスを用いた非臨床試験での活用を推進してまいります。

先端医療事業においては、次世代シーケンサー^{※4}を用いた肺がん・乳がん・卵巣がん・大腸がん・悪性黒色腫などを対象としたがんクリニカルシーケンス^{※5}受託解析サービスを開始いたしました。また、がんクリニカルシーケンスに関しては、北海道がんセンターにおいて本年7月より開始される「網羅的がん遺伝子解析;プレシジョン検査」事業に参画することいたしました。先端医療事業部においては、今後もクリニカルシーケンス事業の拡充を通じて、個別化医療に対して貢献するとともに業績拡大につなげてまいります。

病理診断事業においては、一層の品質向上及び事業効率化に取り組むとともに、豊富な病理診断技術を活かしたサービスの拡充に取り組んでまいりました。特に、子宮頸がんの早期発見に向け、自己採取を含むHPV^{※6}併用検査サービスや、前期から開始した病理診断WEB報告システムにより付加価値を高めた病理診断サービスの営業及び受注拡大に注力いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高339,670千円(前年同期比13.8%減)、営業損失60,256千円(前年同期34,906千円)、経常損失63,516千円(前年同期47,872千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は49,148千円(前年同期37,222千円)となりました。

※1 APP_{OSK}マウス : 大阪市立大学 森 啓 特任教授らが開発した、アルツハイマーに特徴的な加齢に伴った認知機能障害等が認められるマウス

※2 TAU : 中枢神経系に多量に存在し、脳内の神経軸索輸送に重要な働きを担う

※3 CRO : Contract Research Organization (医薬品開発業務受託機関)

※4 次世代シーケンサー : DNAを構成する塩基の配列を高速に読み取りゲノム情報を解読する装置で、得られた情報により病気の診断、治療、創薬に活用される

※5 クリニカルシーケンス : 次世代シーケンサーを用いて、がん細胞の遺伝子変異を網羅的に解析し、診断や治療の参考となる知見を得るための解析手法

※6 HPV : Human papillomavirus (ヒトパピローマウイルス)

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

	売上高		営業損益	
	金額(千円)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
ジェノミクス事業	58,685	27.4%減	△1,776	—
CRO事業	112,046	28.6%減	△10,529	—
先端医療事業	75,928	31.5%増	582	—
病理診断事業	94,848	4.8%減	△3,234	—

① ジェノミクス事業

当事業では、遺伝子破壊マウスの作製受託、モデルマウスの販売及び抗体作製受託、新規バイオマーカーの開発などを行っております。当第1四半期連結累計期間の業績は、期首受注残高が前年に比し減少していたことにより、売上高は前期比減収となり、営業損益については損失となりました。

② CRO事業

当事業では、医薬品・食品の臨床試験受託及び薬理薬効試験、安全性薬理試験、薬物動態試験などの非臨床試験受託を行っております。当第1四半期連結累計期間の業績は、期首受注残高が前年に比し減少していたことにより、売上高は前期比減収となり、営業損益については損失となりました。

③ 先端医療事業

当事業では、遺伝子解析受託サービス及び個別化医療に向けた創薬支援サービスを行っております。当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は前期比増収となり、前期は損失であった営業損益についても利益を計上いたしました。

④ 病理診断事業

当事業は㈱ジェネティックラボの中核事業であり、病理専門医による豊富な診断実績及び最新のバイオマーカー解析技術による高品質な病理診断サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間の業績は、受託検体数の伸び悩みにより、売上高は前期比減収となり、営業損益については損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,687,749千円となり、前連結会計年度末に比べ9,351千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、仕掛品、その他の流動資産がそれぞれ、101,679千円、80,319千円、29,153千円増加した一方、受取手形及び売掛金が224,182千円減少したことによるものであります。固定資産は2,183,526千円となり、前連結会計年度末に比べ21,799千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の減価償却及び無形固定資産の「のれん」の償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は342,152千円となり、前連結会計年度末に比べ146,120千円減少いたしました。これは主に、未払金62,260千円、未払法人税等40,669千円、その他流動負債31,718千円がそれぞれ減少したことによるものであります。固定負債は182,375千円となり、前連結会計年度末に比べ58,451千円減少いたしました。これは主に、未払金への振替により長期未払金が57,805千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,346,748千円となり、前連結会計年度末に比べ173,420千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が合計で218,970千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は季節的変動が著しく、下半期に売上が集中する傾向にあります。

現時点におきましては平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,059,180	1,160,860
受取手形及び売掛金	416,798	192,615
商品及び製品	4,551	5,055
仕掛品	123,085	203,405
原材料及び貯蔵品	27,063	30,019
その他	67,563	96,717
貸倒引当金	△1,142	△924
流動資産合計	1,697,101	1,687,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,050,471	1,050,471
減価償却累計額	△344,231	△354,017
建物及び構築物(純額)	706,239	696,453
土地	621,290	621,290
その他	513,408	513,598
減価償却累計額	△364,859	△374,398
その他(純額)	148,548	139,200
有形固定資産合計	1,476,078	1,456,944
無形固定資産		
のれん	119,056	109,767
その他	11,879	10,971
無形固定資産合計	130,936	120,738
投資その他の資産		
投資有価証券	515,263	517,101
その他	85,547	91,240
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	598,311	605,842
固定資産合計	2,205,325	2,183,526
資産合計	3,902,426	3,871,276

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,212	—
未払金	216,037	153,777
未払法人税等	45,650	4,980
賞与引当金	8,636	2,295
受注損失引当金	1,120	201
その他	212,614	180,896
流動負債合計	488,272	342,152
固定負債		
長期末払金	231,220	173,415
その他	9,606	8,960
固定負債合計	240,826	182,375
負債合計	729,099	524,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,718,017	2,827,502
資本剰余金	465,963	575,448
利益剰余金	12,490	△36,658
自己株式	△1,725	△1,725
株主資本合計	3,194,745	3,364,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34,056	△27,487
その他の包括利益累計額合計	△34,056	△27,487
新株予約権	12,637	9,667
純資産合計	3,173,327	3,346,748
負債純資産合計	3,902,426	3,871,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	394,220	339,670
売上原価	272,606	251,431
売上総利益	121,613	88,239
販売費及び一般管理費	156,520	148,495
営業損失(△)	△34,906	△60,256
営業外収益		
受取利息	196	190
その他	911	1,549
営業外収益合計	1,108	1,739
営業外費用		
支払利息	255	197
持分法による投資損失	12,807	4,730
その他	1,010	71
営業外費用合計	14,073	5,000
経常損失(△)	△47,872	△63,516
特別利益		
持分変動利益	1,442	—
特別利益合計	1,442	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△46,429	△63,516
法人税、住民税及び事業税	1,574	1,574
法人税等調整額	△10,781	△15,942
法人税等合計	△9,207	△14,367
四半期純損失(△)	△37,222	△49,148
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,222	△49,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△37,222	△49,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,545	6,569
その他の包括利益合計	△40,545	6,569
四半期包括利益	△77,767	△42,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,767	△42,579
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	80,869	155,044	57,283	99,522	392,720	1,500	394,220
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1,959	474	72	2,505	△2,505	—
計	80,869	157,003	57,757	99,594	395,225	△1,005	394,220
セグメント利益又は損失 (△)	24,231	12,346	△26,396	1,492	11,674	△46,580	△34,906

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△48,080千円及び持分法適用関連会社からのコンサルティング収入1,500千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	58,685	110,460	75,675	94,848	339,670	—	339,670
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1,586	252	—	1,838	△1,838	—
計	58,685	112,046	75,928	94,848	341,509	△1,838	339,670
セグメント利益又は損失 (△)	△1,776	△10,529	582	△3,234	△14,958	△45,297	△60,256

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,297千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。